

7 月例会「パリの小さなオーケストラ」

貧富の格差なく誰もが楽しめるオーケストラを立ち上げたアルジェリア系女性ザイア・ジウアニの音楽伝記映画

梅雨・台風とお天気がすっきりしない日々ですが、みなさん体調崩されていませんか。7月例会の頃には、暑い熱い夏がやってきます。みなさん、熱中症には十分気をつけましょう。

6月23日は、犠牲者を追悼し恒久平和を誓って沖縄県が定めた「慰霊の日」。中学校2年生の亀谷琉奈さんの平和の詩には、二度と戦争は起こさないようにとの平和への気持ちとおばあちゃんへの愛がいっぱい詰まっていました。世界を見渡せば、紛争が続く、多くの市民・子どもたちが犠牲になっています。遠くの出来事だと思っていた、私たちの生活にも大きな影響が出てきました。一日も早い終結をと願わずにはいられません。

5月例会には、チラシを見て、友人に誘われてとたくさんの方の参加がありました。「元気をもらいました」「哲代さんのようにユーモアと笑顔、感謝を忘れずに」「これからの人生の参考になりました」等々感想がたくさん寄せられました。哲代さんにみならって、くよくよせず前向きに一日一日を丁寧に暮らしていきたいと思いました。

さて、2026年度会費をたくさんの方に一括納入いただきました。1年頑張らねばと運営委員一同気を引き締めています。また経費節減のため切手や封筒・鉛筆など届けて下さると嬉しいです。また上映時、スマホや携帯はマナーモードか電源を切るようにお願いします。お互い気持ちよく鑑賞しましょう。

例会のお知らせ

■名称／第142回例会「パリの小さなオーケストラ」

■日時／2026 年 7 月 15 日 (水)

①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ 600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

■タイトル／パリの小さなオーケストラ

■監督・脚本／マリー＝カスティュー・マンシヨン＝シャ

■出演／ウーヤラ・アマムラ、リナ・エル・アラビ、ニエル・アレストリュプ、マリアンヌ・アスカリッド

■データ／2022 年、フランス、114 分

■ジャンル／ヒューマンドラマ、音楽、オーケストラ

■ストーリー／パリ近郊の音楽院でヴィオラを学んできたザイアは、パリ市内の名門音楽院に最終学年で編入が認められ、指揮者になりたいという夢を持つ。だが、女性で指揮者を目指すのはとても困難な上、クラスには指揮者を目指すエリートのランベールがいる。ランベールの仲間たちには田舎者とやじられ、指揮の練習の授業では指揮台に立っても、真面目に演奏してもらえず練習にならない。しかし。特別授業に來た世界的指揮者に気に入られ、指導を受けることができるようになり、道がわずかに拓き始める一。

本作は、パリの上流家庭出身の生徒たちと移民の多い地元の友人をまとめ、現在も精力的に活躍しているディヴェルティメント・オーケストラを立ち上げた一人の少女と仲間たちの物語。



私の映画KAN「霧のごとく」

アマゾンプライムで気になっていた台湾映画「大濠(ターモン)」邦題「霧のごとく」(2025年)を家で観ました。職場の同僚が最近観たらしく「台湾の歴史の事全然知らなかったわ。」と言うのを聞き、又台湾の国内映画賞を多部門で受賞とあったので、楽しみに鑑賞しました。タイトルの「霧のごとく」の意味はラストあたりで答え合わせが出来ます。映画の舞台は1950年代から2009年まで、両親を失い弟とおじさん宅に居候している主人公の女の子(中学1年くらい)が仲の良かった兄の遺体を引き取るまでの困難の物語です。戒厳令下の台湾、田舎から都会への1人旅、引き取りに必要なお金を何とかしようと、騙され、売られそうにもなり、悪い人もいるけど、ちょい悪のお人良しの元国民党軍の若者に助けられ、物語は明るい方へ運びます。何となく、全体的に柔らかさを感じる映画でした。監督さんを調べると「1秒先の彼女」(2020年)の監督チェン・ユーシュン。私の中で納得がいきました。こちらの映画はファンタジーラブストーリーで題材がまったく違うのですが、どちらの作品にも通じる、なんとも言えない温かさを感じるのです。

ぜひ「1秒先の彼女」も観ていただきたいです。ちなみにこの映画のリメイク版で山下敦弘監督が「1秒先の彼」(2023)を作っていました。脚本は宮藤官九郎。(調べていて初めて知りました。)(せん)

前回の例会報告

5月20日(水)の5月特別例会では、広島県尾道市の自然豊かな山あいの町で100歳を超えてひとり暮らしを続けている石井哲代さんの101歳から104歳までの日々をみつめたドキュメンタリー「104歳哲代さんのひとり暮らし」を鑑賞しました。「なんでも美味しく、誰とでも楽しく、いつだってご機嫌に。」という姿には、こうなりたいと思わせるものでした。

アンケート回答者239人のうち179人が「とてもよかった」、56人が「よかった」、3人が「ふつう」、1人「よくなかった」という結果でした。

参加会員93名、ほか明石シネマクラブから17名の参加があり、新入会員は3名ありました。

上映会の一般鑑賞者は370名あり、多くの方に鑑賞いただきました。(久々に、赤字ではなく、少しですが黒字であったのでホッとしています。)

明石シネマクラブ例会情報

■名称／第90回例会『断捨離パラダイス』
(2022年、日本、101分)

■監督／萱野孝幸

■出演者／篠田諒、北山雅康、泉谷しげる、武藤十夢、関岡マーク、中村祐美子

■ジャンル／ヒューマン、コメディ

■解説／ピアニストの白高律稀はある日突然、原因不明の手の震えによりキャリアを断たれてしまう。ピアノのみに人生を捧げてきた彼は、絶望から立ち直るべく、たまたまチラシで見かけたごみ屋敷専門の清掃業者「断捨離パラダイス」で働くことを決意する。破天荒な上司と、様々な事情を抱えた依頼者たち。華やかな世界から一転、律稀は想像を絶する世界を目撃していくことになるのだった。6篇のエピソードからなる新機軸の断捨離人情喜劇。(作品ホームページから)

■日時／8月21日(金)

①PM2:00ー、②PM4:30ー、③PM7:00ー

■場所／アスパ明石9階子午線ホール

(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、

①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、

②鑑賞希望であることを告げて、

③受付簿にサインする。

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662(金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数 130 人(5月20日現在)

